

ホーム名：グループホーム やすらぎ					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念はわかりやすい場所に提示し入居者一人一人その人らしさを大切にし入居者の立場に立ったサービスの提供を職員に伝えていきます新人職員には採用時日々の申送り時理念を共に意識しながらケアに取り組んでいます	ホームの理念「共に生きる」が、リビングの掲示板に掲げられている。日々変わる支援・生活の変化等に対しても、あらゆる事をチャンスと捉え、入居者の立場に立った支援を行っている。	掲げられている理念の揮毫は、曾ての入居者さんの家族に依るものである。理念を目にする度に「共に生きた」と思い出されるのではないかと推察する。今後も入居者の立場に立ち、理念を共有しながら実践に繋げていって欲しい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の町会の行事には出来るだけ参加したりボランティアの受け入れ中学生の職場体験の受け入れ等実施しています	毎日のゴミ出しを兼ねた散歩で、近隣に出掛けている。ボランティアによる月1回の訪問エステや、地元中学生(桜台中・久米田中)の職場体学習等を受け入れている。また、1階デイと合同でカラオケ大会等を開催し、地域住民とも交流している。	今後も地域と繋がりを持ちながら、入居者の生活にも張りが出るよう交流に取り組まれない。新・町内会長さんにも是非協力を仰ぎたい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護保険審査会の審査委員やキャラバンメイト、配職サービスのボランティアとして認知症の方を理解していただく為、スタッフが地域に参加しています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では家族さんの意見が多く聞かれるようになり介護相談員さんの参加によりアドバイスを受けることも多く、サービスの向上に役立っています	2か月に1度、1階カンファレンスルームで開催されている。市介護保険課・尾生町町会長・介護相談員(民生委員)・家族の出席を得、行事報告・入居者の様子・出席家族からの質問・意見他、充実した内容で開かれている。	平成24年2月度の運営推進会議議事録では、ターミナルケアについての内容が詳しく記されている。会議を通して、ホームの考え方や家族の意見等を詳細に伺うことが出来た。今後も充実した会議の運営を続けていって欲しい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村担当者の方と運営推進会議を通じ事業所の実情理解していただいたりと従来より相談しやすい現状です	毎回の運営推進会議への出席と終了後のホームへの視察で、実情及び運営を理解頂いている。成年後見人制度の利用などもあり、あらゆる面で協力関係を結びながら取り組んでいる。	今後も運営推進会議等を通じ、実際にホームへ足を運んで頂きながら、連携を深めていって頂きたい。運営推進会議では、市からの情報も積極的に提供して頂けるように取り組まれない。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	玄関の施錠も9:00～17:00まで開放し一切の身体拘束はしていません これからも取り組んでいきます	運営規定や重要事項説明書で、「身体的拘束等の禁止」を謳い、職員研修等で理解を深めている。日中、玄関の施錠を含め、身体拘束の例は無い。	今後も虐待防止を含め、身体的拘束等をしないケアに取り組まれない。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会の実施をしたり 最近の新聞やニュースについて話し合いをしました		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在入居者の方で成年後見人制度を利用されている方がおられます 職員研修も積極的に参加しています</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分に時間を取って説明し理解を得ております自宅にも伺って家族間の説明も行っています</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の意見を聞き速やかに対応し運営に活かしています</p>	<p>家族からは相談事が多く寄せられ、管理者はその都度対応し支援に活かしている。運営推進会議での意見交換では、出席家族が安心してホームに委ねている様子が窺える。</p>	<p>利用者及び家族は管理者に対し信頼を寄せ、相談事も多く持ち掛けている。それらの意見や相談事も今後活かせるよう、記録や報告書に残し、今後の運営に反映されたい。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>カンファレンスを週1回行い職員の意見は反映出来るよう努力しています</p>	<p>週1回のカンファレンス時に発言の機会を得る他、匿名での投書も随時受け付けている。カンファレンス時には意見交換も多くなされ、入浴・排泄支援など職員のレベルアップに繋がっている。</p>	<p>直接口に出して言えない事や、思い付いた時忘れない内に、等投書の利点は大きい。良い事柄もドシドシ投書し、サービスの質の向上に役立てたい。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は病院の理事長であり話し合いは一切ありませんが就業規定に定義されており管理者が勤務表を作る時各自の希望を聞いたり就労条件の整備に努めています</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得推進の為の協力は惜しみません 研修・実践者研修の受講を実施しています 1月から2月にかけてスタッフも実践者研修を受けました</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>他施設との情報交流会の実施 事業者連絡会の参加等の交流を行っています</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前には必ず施設に何度か家族さんと来ていただいたり 家庭訪問をさせていただきます</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居後は密にカンファレンスを行い頻回に家族さんと連絡しております それ以降も定期的に連絡をとっています</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>他のサービス、他施設紹介、問い合わせも実施 施設見学も推奨しています</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の方から学ぶ事も多く尊敬する事もあります 常に家族と同じ思いで暮らしを共にしています</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族さんが大変協力的で本人を支えていく気持ちが大きいと思います 家族さんとも納得のいく話し合いの場を持つようになっています</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの店に出掛けたり 岸和田城、牛滝山等有名な場所にはよく出かけます 近くのお大師さんの月参りはかかせません</p>	<p>アセスメント時に聞いた本人の過去を大切に、余興等に取り入れている。馴染みの理・美容院の利用や、岸和田城・とんぼ池公園・牛滝山・久米田寺等へ出掛けている。</p>	<p>今後も馴染みの人や場との継続支援をお願いする。ターミナル期の入居者を、自宅付近を車で回ってさし上げた記録を見て、胸が熱くなる思いである。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者間の意思疎通を図る為常に職員が見守り、テーブルの位置やお手伝いの内容等配慮しています テーブルの位置を変える時はミーティング等で話し合い実施しています</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>死去された方の葬式の参列や退居先 入院先に行かせていただいています 亡くなった方の衣服（未使用）の提供を受けたり施設を訪れてくれる家族さんも多いです</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族さんからの情報提供や外出先、外食等本人の意向に添えるよう配慮しています	常に入居者本人の気持ちになって、本人にとってどのような支援が大切かを考えながら支援に当たっている。管理者の指導により、職員も体感しながら学んでいる。	如何に入居者の心に寄り添うか…である。入浴時や散歩時など、ゆったりと向き合える時間を有効に使う、一人ひとりの思いを汲み取る努力を積んで頂きたい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入居の際にアセスメントを記入していただき情報収集し新たに得た情報はスタッフが記入し共有しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝夕の申し送り週1回のカンファレンスで話し合いの場を設けています 些細なことも連絡ノートに記入し共有しています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要に応じて介護計画の見直しをしています その後必ずモニタリングを順次スタッフがを行います 暮らしに密着した計画を作成しております	長期目標・短期目標を掲げ、本人・家族の満足度も記している。目標に対しての達成感や評価を行い、今後の対応を検討し、各個人暮らしに密着した介護計画を作成している。	今後も、達成感が味わえたり、意欲の湧く様な目標設定のある介護計画の作成に取り組んでいてもらいたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は共有し 全員把握しています 毎日の個別記録を参考にし介護計画の見直しやカンファレンスを行います		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一階にデイケアがあり交流の機会もあります 主体の病院も前に位置しすぐに協力が得られます		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	老人会の催しやボランティアの受け入れをしています 毎日の散歩等近隣の方と対話します		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設病院の主治医がすぐに対応していただけます 休日、緊急時に対応して下さいますが 必要時は看護師(管理者)が適切に支援しています	併設の病院が主治医となり、緊急時、容変時にもいち早く対応し、きめ細かな支援が行われている。月2回、主治医による往診(火曜日)が行われており、毎日の健康管理は、看護師である管理者が行っている。	管理者が看護師であるという事で、家族も安心してホームに委ねている事と思う。入居者は重度化してゆく傾向にある。これからは主治医と連携しながら適切な支援を続けて行って頂きたい。

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>管理者が看護師であり長年高齢者の医療に携わっていたので迅速な対応を心掛けています</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>併設の病院にはしよっちゅう管理者が出向き情報交換しています 遠方の家族さんに対して洗濯物等施設で行いスタッフが交替で取りに行き援助しています</p>		
33 12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時にお話をしてもなかなか実感される家族さんは少ない為ある程度の時期に家族さんとうき合せて対話します その時はそれぞれの思いを文章にし保存しております</p>	<p>「重要事項説明書」に「看取りに関する指針」を謳っている。本人・家族の意向を伺い、本ホームで対応しうるケアについて説明を行っている。安心して納得した最期を迎えられるように随時意思を確認しながら取り組んでいる。この2年間で3名の看取りを行った。</p>	<p>ホームで看取りをして頂けることは、本人・家族にとっては大変心安らぐ事である。が、家族の協力無しではやっていかれない事でもある。職員は、看護師でもある管理者から終末期の過ごし方・知識・支援の仕方等をよく学び、協力し合って今後も支援に取り組まれない。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当は実践出来ています ミーティング時管理者からアドバイスする事が多く 職員教育は出来ています マニュアルも有意義に利用しています</p>		
35 13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を実施 散歩時も時々非常階段を利用しています 町内会、併設病院等協体制はお願いしております 入居者の重度化が進み常に危機感を持っています</p>	<p>緊急時の避難誘導・夜間火災発生時・地震(昼夜問わず)などのマニュアルを作成し、消防及び1階デイと共に避難訓練を実施。散歩時に時々非常階段を利用している。昨年(平成23年)5月にスプリンクラーを設置した。防火管理者は施設長である。</p>	<p>夜間災害時には、隣接宅の理事長の協力を得られるとの事である。消防からは、夜間災害時にはベランダに避難しているようにとの指示がある。今後は、地震発生時に対する初期初動訓練の必要性を感じる。ある程度の災害備蓄品はホームで確保しておきたい。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個人情報である記録等は保管場所を決め施錠できるようになっています。居室への訪問は必ず声かけを行い言葉づかいもスタッフ間で討議します</p>	<p>援助が必要な時は、本人の気持ちを大切に、さりげないケアを心がけている。一人ひとりの思いや暮らし方の希望・意向の把握に努め、得意なものを伸ばすようにしている。個人情報である記録等は保管場所を決め、施錠できるようにしている</p>	<p>管理者は入居者のプライバシー保護・尊厳の確保についてその都度指導し、職員の高品質の向上を図っている。職員も管理者の希望に応えられる様、引き続き努力して欲しい。</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>個別対応を大切にしています 今までの生活習慣を配慮し支援しています</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>朝みんなで日課を決めます 入床、起床時間は決めていません 外出時は各個人の希望に沿った場所へ行けるよう支援します</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>定期的カットや顔そりに行きます 毛染め マニキュアを行いボランティアによるエステを月に1回行っています 行きつけの美容院等にも行けるよう援助しています</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>盛り付けや片付けは入居者の方と職員が一緒に行います 職員も一緒に食事をしていきます</p>	<p>1階デイの厨房で作ったものをホームで盛り付けている。ご飯はホームで炊いている。おかゆやミキサー食にし、その人それぞれに合った食べ易い食事形態にして提供している。職員も入居者の間に入り、全員で会話を交えながら食している。行事食や手作りおやつも楽しみなものとなっている。</p>	<p>介助を必要としている人も自分でスプーンを持ち、食べようとする意欲を引き出す介助を心掛けていた。食べることは大きな喜びである。今後も入居者の気持ちになって、食べる楽しみが長く続くよう支援をお願いしたい。</p>
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるように、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士による献立にてバランスよく食事が作られています 水分摂取は確保できるよう配慮しています 要求のある方には配茶をし居室に置いています</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>各自食後すぐにDRにて口腔ケアを行い、入れ歯は夜間ポリドントにつけます 居室での口腔ケアも確認します</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレ誘導 紙パンツ パット紙オムツ等各自に合わせて支援しています 排便、排尿の時間や有無は記録し共有する事で把握し支援しています</p>	<p>入居者の様子から敏感に察知したり、排泄間隔把握表をつけ、排泄リズムを知り、トイレへ誘導している。紙パンツ・パット・紙オムツ等、各自に合わせた支援を行っている。トイレは5ヶ所あり、スムーズな誘導が出来る。</p>	<p>各トイレにはそれぞれウォッシュレットとジェットタオル機器が設置されている。トイレ使用後の衛生も大切である。トイレでの排泄が長く続くよう、支援の継続を願う。</p>
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>朝食時、おやつ時 フルーツの提供も多く水分摂取量、運動量も便秘の予防対策として対応しています</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴の時間帯、曜日は決めています 但し本人のタイミングや希望体調により臨機応変に対応しています 夏場のシャワーや必要時支援をしています</p>	<p>窓側は一面がガラス戸で、明るく開放感がある浴室である。原則、入浴時間は午後で、月・水・金グループと火・木グループ(支援度の高い人)に分けて支援している。入浴剤なども利用し、楽しい入浴を心掛けている。ターミナル期に入った人でも体調を考慮しながら、抱きかかえての入浴を行う</p>	<p>今後も一律ではない一人ひとりに適した入浴を継続されたい。介護の必要性が高くなった時、本人及び職員の身体的負担を思うと、入浴における福祉用具の利用も良いのでは、と考える。</p>

46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床時間入床時間は決めていません 散歩やレクの合間は居室で臥床したり ソファで休息したりと自由に生活されています		
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬リストは職員がいつでも見られるよう事務所に保管 カンファレンス時等管理者から説明する事が多いです		
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備、片付け、洗濯干しなど個人の力をみきわめ手伝っていただいたり 個人の花壇を作り 手入れ、水やりをしています		
49 18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	入居者の希望を聞き毎日散歩に出かけます 買い物時は菓子や漬物の購入等あります 桜の花見時は家族さんの同行もあります 行きつけの散髪屋さん帰宅支援も行っています	道路を隔てた併設病院敷地内へ、残飯出しを兼ねた散歩を毎日行なっている。自宅の様子見や着替えを取りに行くなどの帰宅支援も行っている。日曜日には1階の庭園で、おやつを食したりもしている。	要介護度が高いにも拘らず歩ける人が多いのは、毎日継続して青竹踏みや様々なゲーム・体操などを遊び感覚で行う事により、足腰の鍛錬に役立っているのだと思われる。楽しい外出支援の継続をお願いする。
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	数人の方がお金を所持しています 月参りのお寺にお賽銭を出したり電話をかける際に使っています		
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	職員が支援し電話をかけたり手紙、ハガキのやりとりは実施しています		
52 19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁に季節の飾りつけをしたり中庭からの採光は充分取り入れられています 温度計の設置 空気清浄機の設置等 居心地のよい環境にしています トイレも広く使いやすくなっています	吹き抜けの中庭があり、明るく開放感があるリビングである。皆で作った季節の壁飾り(今月は鯉のぼり)は大人の過ごす空間にマッチしていた。ゲーム(ダーツ・輪投げ・ボーリング)の優勝者一覧表や、エステの後に撮った化粧した入居者の引き伸ばした写真などが掲示板に貼られ話題の提供を誘っている。掃除も行き届き、清潔である。	掃除が行き届き、家族からは高評を得ている。大人の過ごす落ち着いた共用空間作りで、今後も取り組まれない。
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間は有意義に活用し椅子を置いたり ソファを配置しています		
54 20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内も広い為個人の愛着のある家具等多くのものを配置していただいています 家族さんも多くの写真や飾り物を持って来られ 一緒に楽しんでいます	各居室には電動式低床ベッドが完備され、高さ調節装置付洗面化粧台と合わせ、居室にて洗髪・足湯も可能である。布団も吹き抜け空間で順番に干され、室内の清潔と共に衛生にも気を配られている。	各居室は馴染みの品が持ち込まれ、家族との思い出の写真や飾り物で設えられている。更に「本日の予定表」が貼られている部屋もある。今を生活する部屋として、今後も居心地の良い居室作りを支援されたい。
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	レクリエーションは数多く取り入れ各個人の得意な事出来る事を支援しています 家事の手伝いも個人の能力にあった事を手伝っていただいています		

V アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいの ③職員の3分の1くらいの ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいの ③家族の3分の1くらいの ④ほとんどできていない